

## 伊豆大島における地磁気全磁力変化\*

### Variation of Geomagnetic Total Intensity at Izu Oshima Volcano

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

伊豆大島における2008年4月までの地磁気全磁力変化について報告する。

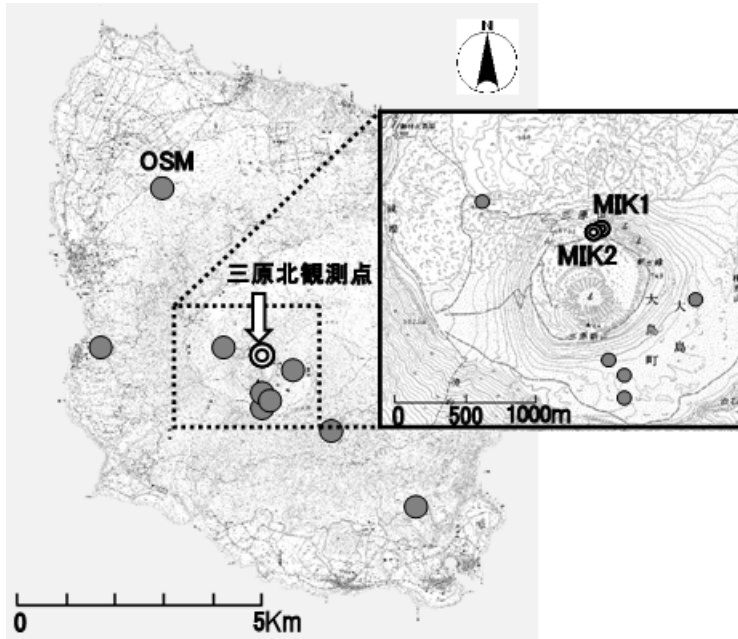
地磁気観測所では、当該期間に三原山火口北側の2点(MIK1、MIK2)において全磁力連続観測を実施している(第1図)。

2007年4月から2008年4月までの期間について、連続観測点MIK1、MIK2で得られた全磁力日平均値と、参照点として利用したOSM(東京大学地震研究所:北緯34度45.94分、東経139度22.37分、火口の北西約4.8km)の全磁力日平均値との差を第2図に示す。

MIK2にみられる長く大きな変動は年周変化(約20nT)と考える。MIK1にも、時々原因不明の短期の変動がみられるが、長周期の変化は年周変化(約20nT)と考えられる。

---

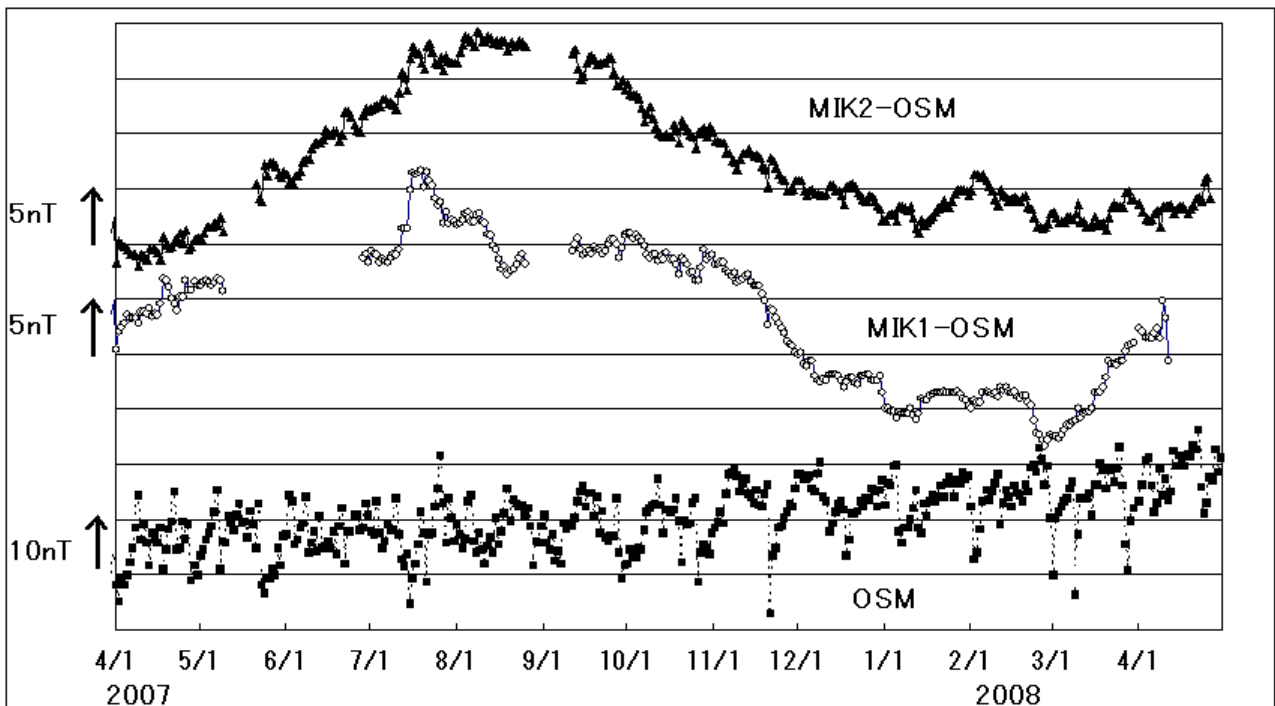
\*2009年8月24日受付



第1図 全磁力観測点配置図 (◎：地磁気観測所、●：東京大学地震研究所)

この地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図25000(地図画像)」を使用した。

Fig.1 Location map of geomagnetic total intensity observation stations. Geomagnetic Observatory stations are marked by ◎. Stations operated by Earthquake Research Institute(●) are also shown.



第2図 2007年4月から2008年4月までの連続観測点MIK1、MIK2における全磁力日平均値と参照点OSMの日平均値との差

Fig.2 Daily mean differences of the geomagnetic total intensities at the continuous stations MIK1(○)and MIK2(▲) from the reference station OSM from April 2007 to April 2008. The total intensity at OSM(■) is also shown at the bottom.